

琵琶湖病院・びわこクリニック
聴覚障害外来通信

2005年

47号

ささやき

編集・発行 特定医療法人 明和会 琵琶湖病院
聴覚障害者外来スタッフ

FAX : 077-579-5487
TEL : 077-578-2023
E-Mail : mimi@biwako.or.jp

手話との出会い・・・これからの自分 看護師 高間 穰

病院に勤務して、かれこれ・・・長い年月が経ちました。病棟に勤務していることもあり、聴覚障害の方と出会う機会が多くあります。就職当初、聴覚障害の方が入院されていて、身振り手振りでコミュニケーションをとっていた事を思い出します。暫らくして、聴覚障害者外来が開設された事により、入院される方も増えました。そのため、職員も手話をする機会が増え必要性が高くなり、勉強会も活発に行われるようになりました。『これは自分も手話を獲得しなければ!』と感じて何度か勉強会に参加しました。

しかし、実際に聴覚障害の方とのコミュニケーション、また病棟のオリエンテーションの中で手話を使ってみました。これがまた難しい。単語でのコミュニケーションは、かろうじて理解していただける部分もありますが、物事を説明しようとすると言ってしまうと全くと言っていいほど一方通行でした。その未熟な手話を節々と汲み取り予測して『こんなことを言っているのだろうか?』とわかろうとしてくれた聴覚障害の方に感謝です。我ながらトホホの粹です。

そんなスタートからはや数年経っても一向に進歩のみられない手話で患者さんとのコミュニケーションをとっている今日この頃です。入院されてくる方には、なるべく知っている手話を使ってみようと思いがけています。不思議なもので、人間は一度覚えたことを使わないと、どんどん忘れていきます。日頃から手話を活用しながら会話をすれば、もう少し忘れて行くスピードが遅くなるかもしれません。そう考えながら日々、病棟で勤務しています。

これは、余談になるのですが最近、歌を手話で歌うことが様々な場面で見られます。1回や2回見ただけで簡単に歌の内容と手話を覚えてしまう子供達、まさに天才では!と考えさせられることがあります。リズムカルに楽しみながら覚えていけば、今からでも上達!??も夢ではないかも。

☆最近のトピックス

- 8月20日 秋田市で、「聴覚障害者の精神保健に関する講演会」があり、藤田先生が「聴覚障害者外来の10年間」、心理士古賀が、「聴覚障害者外来の集団精神療法」の講演をされました。
- 8月末 藤田先生がハン六の文化奨励賞を受賞されました。
- 10月8日 豊郷病院の看護学校の学園祭で、藤田先生が講演されました。
- 11月5日 愛知医大の学園祭で地域健康支援セミナー「耳の聞こえない人から学ぶケア」のテーマで藤田先生が講演されました。
- 11月12・13日 松江で、中国地方の手話サークルの大会があり、藤田先生が参加されます。



『 手話だけが表現方法？！ 』

事務所 溝江 沙織

これまでの私の生活の中で「手話」という表現方法は身近にありませんでした。入社し「聴覚障害者外来」の言葉を初めて知り、手話での表現方法を知りました。手話の勉強を興味本意で始めた頃は前向きに取り組んでいました。しかし外来受付で手話を使う機会が増えてきた頃には、使う事に抵抗が出てきました。それは手話で自分の伝えたい事を表現しても全く伝わらない上に、相手の言いたい事を正確に読み取れませんでした。相手の気持ちや伝えたいことがわからない…そんな自分に「手話の壁は高い」と自分自身に大きな壁を作って手話を避けていた時期がありました。

その頃、ある患者さんとの出会いがありました。患者さんの手話はとても早く、読み取れず困った顔をしている私に筆談という方法で気持ちを伝え始められました。私は相手に気持ちを伝えるにあたって手話という表現方法だけに捉われていたのかもしれない。

しかし、手話は表現方法の一つであり、筆談という表現方法を交えながら相手に気持ちを伝える事で理解できるようになりました。どのような表現方法であっても、『伝えたい！』という気持ちが一番大切であるということ、【手話】を通じて知りました。

今は手話だけではなく、筆談も含めて患者さんとコミュニケーションをとっています。

自分の思いを伝えたい、相手の伝えたいことを理解したいという気持ちが強くなり、時間がかかっても少しずつ学んでいき、楽しく手話を勉強しよう！！と頑張っています。

1つ1つの会話を大切にして、今後も手話を通してコミュニケーションをとって行きたいと思います。



『 手話を始めて・・・ 』

薬局スタッフ Mさん

私は今まで聴覚障害のある患者さんと接する機会はありませんでした。

本院に来て聴覚外来があると聞き手話サークルに参加させて頂きながら勉強しているのですが、なかなか患者さんの手の動きや形を見てもすぐに読み取ることができず戸惑っています。

サークルで教えて頂いた歌などを子供と一緒に練習しているのですが、保育園でも少し手話を取り入れているようで逆に教えられることもたびたび……。

先日、保育園にお迎えに行ったところ、園庭で騒ぐ子供達に先生が「注目～！！」と一声・・・先生は「お部屋に入って下さい」という手話をされましたが、子供達は、「べ～！！」と舌を出していました。ガッカリしている先生を横に笑ってしまいました。

毎日保育の中で自然に身につけていって本当にいい経験をさせて頂いているのだと思いました。

私も本院に来て聴覚障害のある患者さんと接する機会を大切にし、少しでも早くコミュニケーションが取れるように頑張っていきます！！

～わんぽいんと手話～



『ワクチン』

薬と指文字の「ワ」を組み合わせた表現です。

左手掌を右手3指で回転させながらなでる。



『編集後記』

朝晩の冷え込みが厳しくなりつつある今日この頃です。風邪はひいていませんか？風邪の予防には『手洗い・うがい』が大切ですね。寒い寒い冬を元気に乗り切りたいものです・・・(な)